

## 日本型教育を担う教師の人材確保について

日本工業教育経営研究会 会長 長田 利彦

会員の皆様におかれましては、平素より、日本工業教育経営研究会・日本工業技術教育学会へのご支援、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症が拡大している状況に鑑み、昨年に引き続き、第31回工業教育全国大会を中止とさせていただきます。大変残念ではございますが、会員の皆様の健康を重視したものとご理解いただき、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

文部科学省では、令和の日本型学校教育を実現していくため、時代の変化に応じた質の高い教師を確保するためには、より一層の働き方改革の推進や処遇の在り方の検討を進めることに加え、教職を目指す学生や社会人の方に、現職の教師が前向きに取り組んでいる姿を知ってもらうことが重要であるということから、令和3年2月に公表した『令和の日本型教育』を担う教師の人材確保・質向上プラン』を踏まえ、「#教師のバトン」プロジェクトを新たに開始しました。このプロジェクトは、学校での働き方改革による職場環境の改善やICTの効果的な活用、新しい教育実践など、学校現場で進行中の様々な改革事例やエピソードについて、現場の教師や保護者等がTwitter等のSNSで投稿していただくことにより、全国の学校現場の取組や、日々の教育活動における教師の思いを社会に広く知ってもらうとともに、教職を目指す学生・社会人の方々の準備に役立ててもらう取組です。

特に、令和の日本型学校教育の実現に向け、質の高い教員が教育を行うことの重要性に鑑みて教員養成・採用・研修の在り方について、中長期的な実効性ある方策を検討するために、日本型学校教育を担う教師の人材確保・質向上プランを策定しました。このプランによりますと、①教職の魅力を増やして、教職を目指す人を増やす、②教師として働き続けてもらえる環境をつくる、③学校現場に参画する多様なルートを確保する。など教職の魅力の向上に向けた広報の充実や学校における働き方改革を推進することを挙げています。また、教員免許更新制の在り方の見直しが行われ、必要な教師数の確保とその資質能力の確保が両立できるあり方を総合的に検討するとされてきました。

このような状況の中、先日、萩生田光一文部科学大臣は、教員免許更新制度について早ければ2023年度から廃止する方針を表明しました。教員の資質確保を目的に第1次安倍政権の肝いりの「教育改革」でスタートした免許更新制度でしたが、教師の負担増や手不足など、現場や時代に合わなくなってきたというのが理由だそうです。しかしながら、免許更新が廃止されても、教師が資質能力を高める努力は重要です。近年はリモート授業への対応や、子どもの心理を把握するメンタルケアなど、広範な知識が求められています。また、教師自身が足りない知識や伸ばしたい技術・技能、身に付けたい資質能力について、主体的、系統的、継続的に学ぶことのできる仕組み作りや学ぶための時間の確保も必要です。

我が国は少子化を迎え、様々な分野で活躍できる人材育成はきわめて重要な教育のテーマです。工業高校における教育、また工業分野の技術者育成においても、それは共通した課題です。これからの工業教育は、生涯教育、教育環境また社会の活性化に寄与していくなど幅広い対応が求められています。新学習指導要領が2022年より完全実施されます。新しい時代にふさわしい工業教育が、若手教員によって力強く展開されることを願っています。

コロナ禍が一日でも早く収束へ向かいますことと、皆様のご健康をお祈り申し上げます。